

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号。以下「PFI法」という。）第 8 条<sup>1</sup>の規定により、「長崎市新市立病院整備運営事業（以下「本事業」という。）」に係る事業者の選定に関する客観的な評価を行ったので、その結果をここに公表します。

---

<sup>1</sup>（客観的な評価）

第八条 公共施設等の管理者等は、第六条の特定事業の選定及び前条第一項の民間事業者の選定を行うに当たっては、客観的な評価（当該特定事業の効果及び効率性に関する評価を含む。）を行い、その結果を公表しなければならない。

**長崎市新市立病院整備運営事業に係る  
事業者選定過程及び審査講評**

平成22年 9 月

長崎市

- 目 次 -

<b>第 1 落札者の決定手続き</b> .....	1
1 落札者の決定 .....	1
2 審査の方法 .....	1
3 審査等の流れ .....	2
<b>第 2 事業者選定の経過</b> .....	4
1 参加要件確認 .....	4
2 応募者との対話・質問回答等の実施 .....	5
(1) 入札説明書等に関する質問回答 .....	5
(2) 個別現場説明会 .....	5
(3) 対話 .....	5
3 入札提出書類の審査 .....	6
(1) 入札金額の確認及び入札提出書類の形式審査 .....	6
(2) 提案内容に対する基礎審査 .....	6
(3) 提案内容に対する加点審査 .....	7
(4) 入札金額の点数化 .....	13
(5) 総合評価点、落札候補者の決定 .....	13
4 落札者の決定 .....	13
5 財政負担額の比較 .....	13
<b>第 3 長崎市新市立病院整備運営事業 P F I 審査会審査講評</b> .....	14
1 内容評価点に係る審査講評 .....	14
2 総評 .....	31

長崎市（以下「市」という。）は、平成 22 年 8 月 2 日に本事業に係る落札者を決定した。  
事業者選定過程及び学識経験者等で構成する「長崎市新市立病院整備運営事業 P F I 審査会」  
（以下「審査会」という。）の審査講評を以下のとおり公表する。

## 第 1 落札者の決定手続き

### 1 落札者の決定

本事業を実施する事業者には、病院施設等の設計・新設・解体・改修のほか、事業全体のマネジメント及び施設維持管理等に関する専門的な知識やノウハウが求められる。

このため、落札者の決定方法は、価格のほか、本事業の業務範囲に関する提案内容、資金計画及びリスク管理を含む事業計画の妥当性・確実性等、多面的な判断が必要であることから、地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 10 の 2 の規定による、金額、提案内容を総合的に評価する方式（総合評価一般競争入札方式）を採用した。

なお、本事業の入札に参加する資格を有する者は、本事業を実施するために必要な能力と資本力を備えた法人のグループ（以下「応募者」という。）とした。

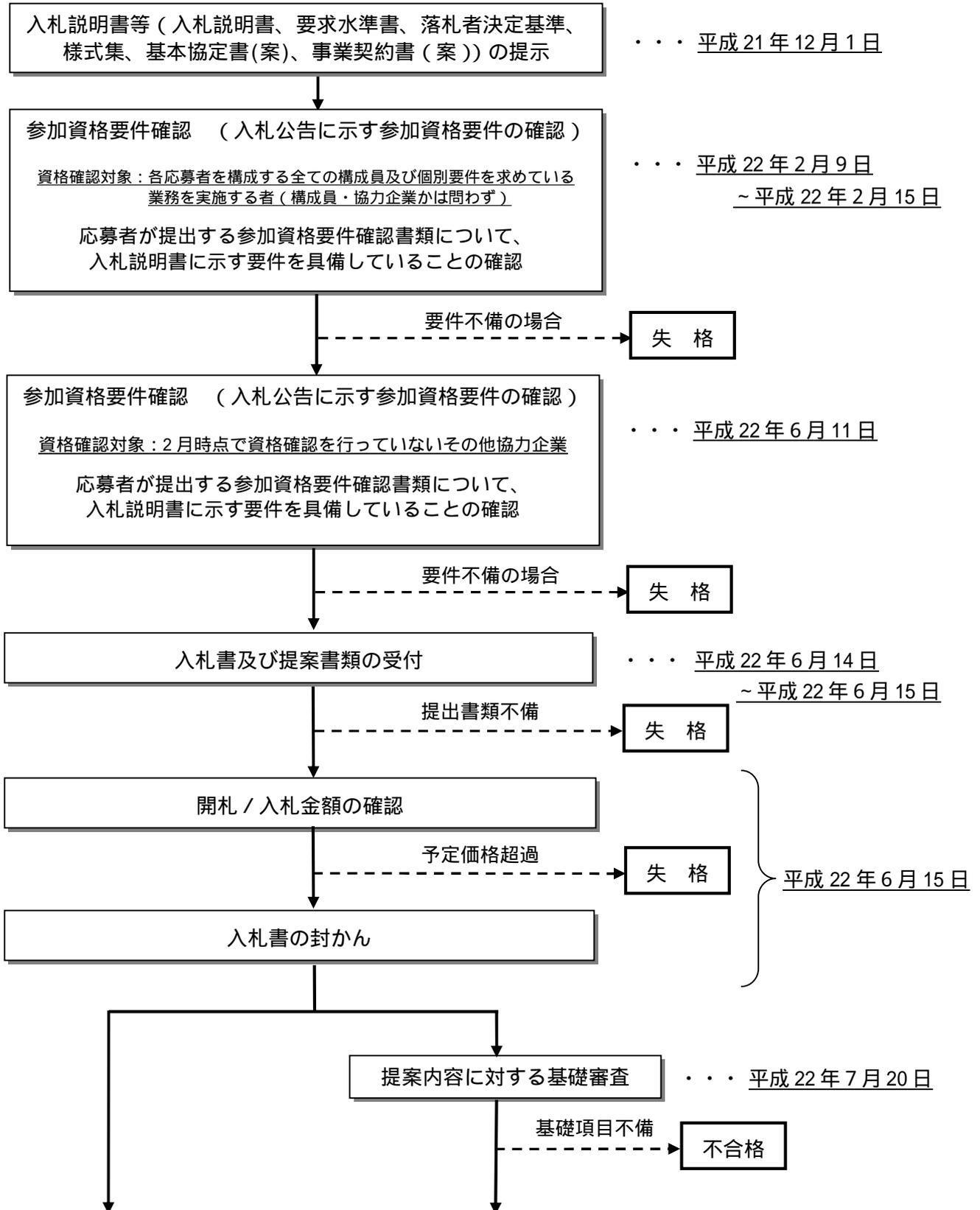
### 2 審査の方法

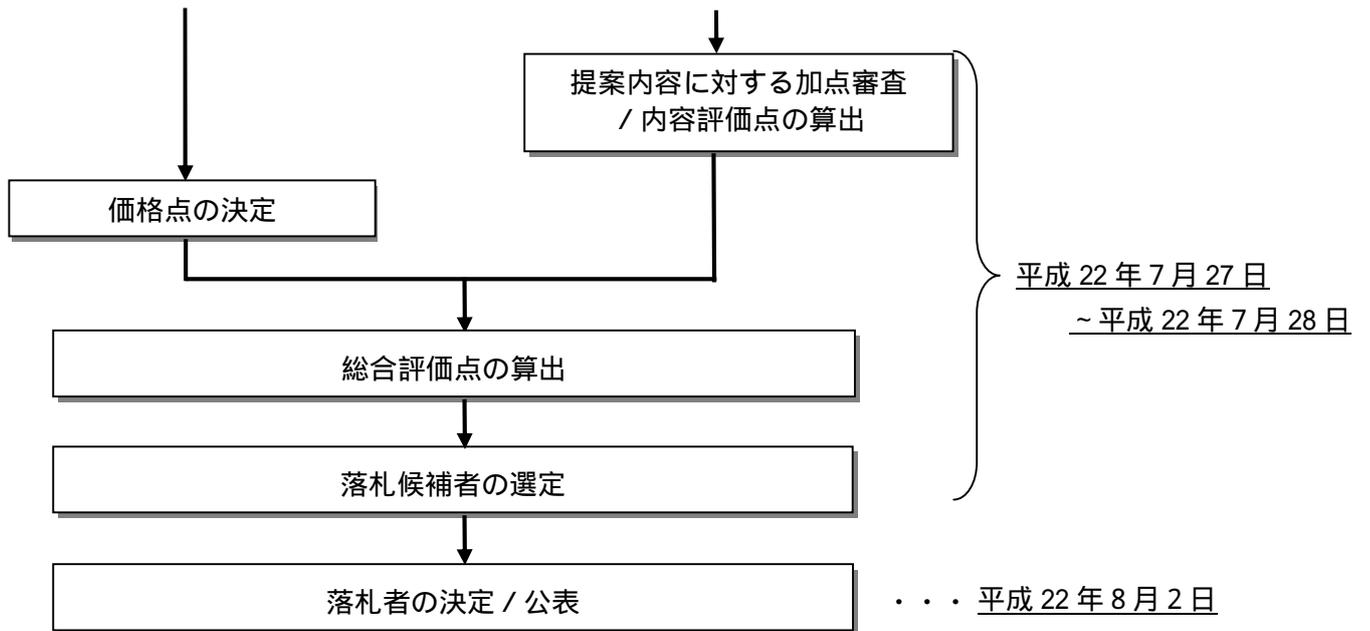
審査は、参加要件確認及び提案内容等の審査（入札金額の確認、基礎審査、加点審査）により実施した。

具体的な手続きとしては、参加要件確認後、「提案内容に対する基礎審査」を通過した者を対象として、総合評価点（内容評価点と価格点の総和）を算出し、最も高い点数が付与された応募者を、審査会において落札候補者として選定し、審査会からの報告を踏まえ、市が落札者を決定した。

### 3 審査等の流れ

本事業における審査等の流れは以下のとおりである。





## 第2 事業者選定の経過

事業者選定にあたっては、下記スケジュールのとおり手続きを行った。

年月日	手続内容
平成 21 年 12 月 1 日	入札公告
平成 21 年 12 月 14 日	入札説明書等に関する説明会の開催
平成 22 年 1 月 25 日、27 日	入札説明書等に関する第 1 回質問への回答
平成 22 年 2 月 9 日～10 日	参加表明書・参加資格要件確認書類の提出 第 1 回対話参加申請書等の提出 個別現場説明会参加申請書等の提出 守秘義務誓約書の提出
平成 22 年 2 月 15 日	参加資格要件確認結果の通知
平成 22 年 2 月 18 日、19 日	第 1 回対話
平成 22 年 3 月 9 日～12 日	個別現場説明会
平成 22 年 3 月 19 日	入札説明書等に関する追加の質問への回答
平成 22 年 4 月 13 日、14 日	第 2 回対話
平成 22 年 4 月 23 日	入札説明書等に関する第 2 回質問への回答
平成 22 年 5 月 13 日	意見交換会（追加対話）
平成 22 年 6 月 11 日	参加資格要件確認結果の通知
平成 22 年 6 月 15 日	入札提出書類の受付期限及び開札
平成 22 年 7 月 27 日	第 5 回長崎市新市立病院整備運営事業 P F I 審査会 （応募者ヒアリングの実施）
平成 22 年 7 月 28 日	第 6 回長崎市新市立病院整備運営事業 P F I 審査会 （落札候補者の選定）
平成 22 年 8 月 2 日	市が落札者を決定、公表

### 1 参加要件確認

平成 22 年 2 月 9 日から 10 日までに表 1 のとおり 4 グループから応募があり、応募者から提出された参加表明書及び参加要件確認書類により、入札公告に示す応募者等の備えるべき参加要件を満たしているかについて確認した。その結果、各応募者ともに、入札公告に示す応募者等の備えるべき参加要件を満足していることが確認されたため、平成 22 年 2 月 15 日付で各応募者の代表企業に対して参加要件確認結果を通知した。

【表 1】

事業者（グループ）
大林組グループ
九電工グループ
清水建設グループ
大成建設グループ

（五十音順）

## 2 応募者との対話・質問回答等の実施

参加要件の確認を受けた各応募者に対して、以下の手順で質問回答・対話等を開催した。

### (1) 入札説明書等に関する質問回答

- ・ 日時 第1回：(受付期間)平成21年12月7日から平成21年12月22日まで  
(回答公表)平成22年1月25日、27日  
追加：(受付期間)平成22年3月8日から平成22年3月9日  
(回答通知)平成22年3月19日
- 第2回：(受付期間)平成22年3月23日から平成22年3月26日  
(回答通知)平成22年4月23日

第1回は市のホームページで公表したが、追加及び第2回については参加要件の確認を受けた応募者の代表企業に対して通知した。

### (2) 個別現場説明会

- ・ 日時 平成22年3月9日、10日、11日、12日
- ・ 時間 応募者ごとに、各3時間
- ・ 内容 参加要件の確認を受けた応募者に、長崎市立市民病院及び長崎市立病院成人病センターの現状及び特徴等をより深く理解してもらうため、希望する応募者ごとに、個別に現場説明会を開催し、病院施設・運営現場の見学、市及び病院責任者(現場責任者を含む)との意見交換等を実施した。

### (3) 対話

- ・ 日時 第1回：平成22年2月18日、19日  
第2回：平成22年4月13日、14日  
意見交換会(追加対話)：平成22年5月13日
- ・ 時間 第1回：応募者ごとに、各3時間  
第2回：応募者ごとに、各3時間  
意見交換会(追加対話)：応募者ごとに、各1時間30分
- ・ 目的 本事業は、極めて専門性が高く多岐にわたる業務により成り立つ病院事業に対して、PFI法に基づき、事業者のノウハウ発揮を求める事業であることから、「PFIにおける今後の入札契約制度の在り方に関する調査について」(内閣府民間資金等活用事業推進室平成18年11月10日)、「PFI事業に係る民間事業者の選定及び協定締結手続きについて」(平成18年11月24日付け総行地第145号各都道府市・各指定都市PFI・契約担当部局あて総務省自治行政局地域振興課長通知)に添付された「PFI事業に係る民間事業者の選定及び協定締結手続きについて」(平成18年11月22日付け民間資金等の活

用による公共施設等の整備等の促進に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)等の趣旨を踏まえ、応募者間での公平性・透明性の確保に十分留意した上で、入札説明書「別添資料 1 要求水準書(以下、「要求水準書」という。)」などに示した発注者の意向を正確に把握すること、また十分な意思疎通を図ることによって、応募者が本事業の趣旨、市の意図を理解し、落札者決定後の調整等を最小限に抑えることを目的として、応募者の現時点における提案内容に対する確認も含め、応募者との対面による対話(以下「対話」という。)を希望する応募者ごとに、個別に実施した。

- ・内容 具体的な議題は、様式集に定める様式 15 に従い、応募者から希望する議題(優先順位を含む)の提出を受け、市が対話の趣旨を踏まえ、議題として扱うかの判断をした上で、対話当日、対面にて質問内容に対して市が回答を行った(一部、後日回答した事項も含む)。なお、参加者間での公平性・透明性を保つため、上記の確定した議事録の内容に基づき、対話の相手方が特定できないようにした上で、要点のみを示した議事要約を作成し、他の応募者の参加代表者に対して通知した(ただし、参加者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れのある事項、ノウハウに関わる事項については、非公表とした。)

### 3 入札提出書類の審査

平成 22 年 6 月 14 日、15 日に、参加要件の確認を受けた大林組グループ、九電工グループ、清水建設グループ、大成建設グループの 4 グループから入札提出書類の提出がなされた。

市は、入札説明書「別添資料 2 落札者決定基準」等に基づき、入札提案書類の審査を実施した。

#### (1) 入札金額の確認及び入札提出書類の形式審査

6 月 14 日、15 日に 4 グループから提出された入札関係書類に関し、提案書類の不備がないことを確認した。また、6 月 15 日に各グループの入札書に記載された入札金額が予定価格を超えていないことを確認した。

#### (2) 提案内容に対する基礎審査

審査会では、応募者から提出された提案書類に関し、以下の表 2 に示す「4 つの視点」に基づき、「応募者が、本事業における要求水準を満たすための基本的能力を有するものか否か」という視点で基礎審査を実施した。

なお、提案内容が多岐に渡りかつ膨大であるゆえ、基礎審査過程において、提案内容の不明瞭な事項、書類間の整合性等を確認できない点については、応募者に対して書面での確認(明瞭化)を行った上、基礎審査の結果として、「応募者が、本事業における要求水準を満たすための基本的能力を有している」として、4 グループに対して、その旨を、7 月 20 日付で

代表企業あてに通知した。

【表 2】

審査の視点		対象業務
本事業及び当病院の特性・留意点等の理解度	本事業及び当病院の特性を踏まえた上で、業務の特性・留意点（業務が果たすべき役割と位置づけを含む）の理解に問題がなく、それに基づいた一貫性のある具体的な提案がなされていることを審査する。	すべての業務
業務遂行に係る技術的能力	有資格者の配置や十分な人員体制・教育訓練等の実施のほか、要求水準を満たすサービスを提供する業務に関する技術的能力に問題がないか審査する。	すべての業務
事業環境の変化等に対する柔軟性	長期にわたる病院事業であることに鑑み、事業期間中の医療を取巻く環境の変化やその他の問題等発生時に、各業務の特性を踏まえた上で、柔軟な対応（業務体制の再構築等を含む）が提案されていることを審査する。 また、業務間の連携・協力体制が具体的に提案されていることを審査する。	すべての業務
提案内容の実行性	提案内容が、コストや時間等の制約条件の中で実行可能であるかを審査する。	すべての業務

### (3) 提案内容に対する加点審査

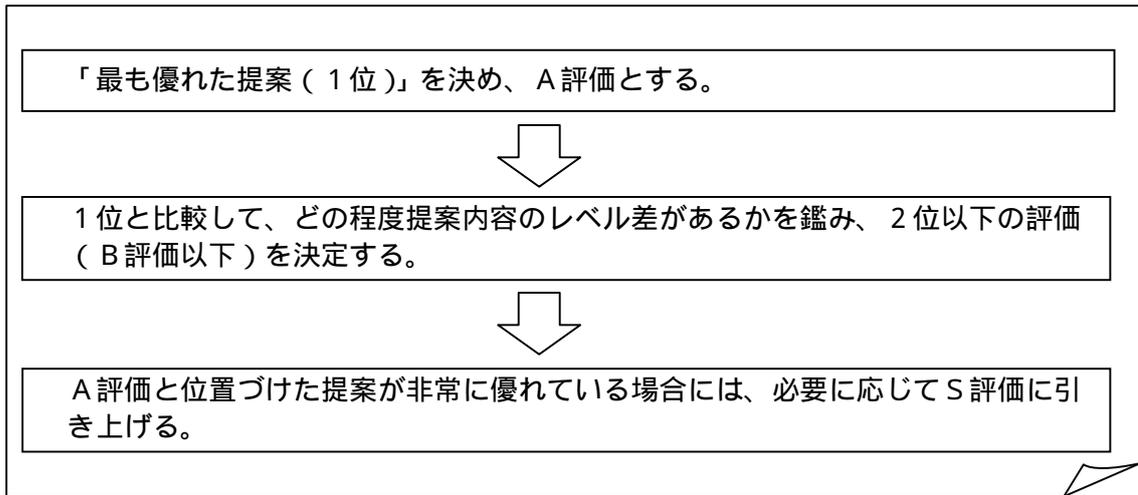
審査会では、基礎審査において、すべての要件を満たした4グループの入札提案書類について加点審査を行った。

平成22年7月28日に開催された審査会においては、応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について、表3に示す評価項目及び視点の単位（全12項目）ごとに意見交換・協議を行い、評価を集約し、合議制により各グループの評価（5段階評価）を決定した後、当該評価をもとに定められた得点化方法により得点を付与し、その合計を各グループの「内容評価点」として算出した。

なお、5段階評価は、予め定められた次の方法に従い得点化した。

< S評価は配点×1.00、A評価は配点×0.75、B評価は配点×0.50、C評価は配点×0.25、  
D評価は配点×0 >

本審査会においては、提案内容の相対比較を基本とし、以下の手順で各グループの評価を決定した。



最も優れた提案が複数ある場合は、審査会において協議・合意のうえ、複数のグループをA評価とした。

なお、提案の趣旨・提案内容の詳細の確認等を目的として、平成22年7月27日に応募者に対して審査会委員により個別にヒアリングを行った。

各グループが獲得した「内容評価点」の得点は、表3のとおりとなった。

【表 3】

評価項目	評価の視点	配点	評価				点数			
			W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ	W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ
1.事業全体のマネジメント	事業期間中にわたり、効果的なマネジメント体制が構築され、かつその効果の発揮・維持について実現性の高い具体的な提案がなされているか。	50点	B	A	B	C	25.00	37.50	25.00	12.50
	ソフトとハードの最適な整合を実現するために効果的で実現性の高い方策等が提案されているか。	25点	B	A	B	C	12.50	18.75	12.50	6.25
	新市立病院の役割・機能及び医療を取り巻く環境の変化に対する対応・支援策等について、事業全体を通じたマネジメントという視点から具体的かつ有効な提案がなされているか。	25点	A	A	B	C	18.75	18.75	12.50	6.25

評価項目	評価の視点	配点	評価				点数			
			W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ	W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ
2.高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保	長崎地域保健医療圏における基幹病院たる提案がなされているか。	25点	A	A	C	B	18.75	18.75	6.25	12.50
	新市立病院の理念・病院方針への的確な理解と高度・急性期医療を提供する基幹病院として、その医療機能が最大限発揮できる施設計画のあり方について、専門的知見を生かした有効な提案がなされているか。	100点	A	A	C	B	75.00	75.00	25.00	50.00
	長期間に亘り、使用する病院施設として、その建物性能の維持及び医療環境・医療機能等の変化に対して柔軟に対応できる、有効な提案がなされているか。	50点	A	A	C	B	37.50	37.50	12.50	25.00

評価項目	評価の視点	配点	評価				点数			
			W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ	W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ
	災害拠点病院として、災害時等において診療機能が維持でき、担うべき役割が発揮できる施設計画という視点から有効な提案がなされているか。	25点	A	A	B	C	18.75	18.75	12.50	6.25
3 .工程計画の考え方	円滑かつ確実な開院を実現するために効果的かつ実現性の高い方策が提案されているか。	50点	A	A	B	C	37.50	37.50	25.00	12.50
4 .地球環境への配慮	環境負荷の低減に関する具体的かつ有効な提案がなされているか。	25点	A	B	B	B	18.75	12.50	12.50	12.50
5 .地域経済の振興	市へ提供するサービスの質・性能を確保した上で、本事業全体を通じて、どのように地域経済に寄与できるかについて、効果が発揮できる有効な提案がなされているか。	50点	A	A	B	B	37.50	37.50	25.00	25.00

評価項目	評価の視点		配点	評価				点数			
				W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ	W グループ	X グループ	Y グループ	Z グループ
6.周辺地 域との調 和		周辺地域と調和を図るための 工夫について、有効な提案が なされているか。	50 点	B	A	B	B	25.00	37.50	25.00	25.00
7.その他		その他、本事業において自ら が貢献できるような対応・支 援策等について具体的かつ有 効な提案がなされているか。	25 点	A	A	B	C	18.75	18.75	12.50	6.25
内容評価点			500 点					343.75	368.75	206.25	200.00

【内容評価点の得点化方法】 S : 配点×1.00 A : 配点×0.75 B : 配点×0.50 C : 配点×0.25 D : 配点×0

#### (4) 入札金額の点数化

平成 22 年 7 月 28 日開催の審査会において、内容評価点が確定後、落札者決定基準に示す入札金額の点数化方法に従い、4 グループの入札金額を点数化し、価格点を算出した。各グループに付与された価格点は表 4 のとおりである。

【表 4】

	Wグループ	Xグループ	Yグループ	Zグループ
価格点	458.35	398.20	500.00	472.42

#### (5) 総合評価点、落札候補者の決定

審査会では、内容評価点と価格点を合計して、各グループの総合評価点を算出した。各グループに付与された総合評価点の結果は表 5 のとおりである。

最も高い総合評価点、802.10 点を獲得した W グループ（大成建設グループ）を落札候補者として選定した。

【表 5 総合評価点（内容評価点 + 価格点）】

	Wグループ	Xグループ	Yグループ	Zグループ
内容評価点	343.75	368.75	206.25	200.00
価格点	458.35	398.20	500.00	472.42
<b>総合評価点</b>	<b>802.10</b>	<b>766.95</b>	<b>706.25</b>	<b>672.42</b>

#### 4 落札者の決定

市は審査会の審議を踏まえ、平成 22 年 8 月 2 日付で、大成建設グループを落札者として決定・公表した。

#### 5 財政負担額の比較

本事業における市の財政負担について、落札者の提案に基づき P F I 事業として実施することにより、市が直接実施する場合と比べて、事業期間全体で市の財政負担額を 45%程度縮減することが期待できる。

### 第3 長崎市新市立病院整備運営事業PFI審査会 審査講評

長崎市新市立病院整備運営事業PFI審査会は、落札者決定基準に基づき、審査を行ったので、以下に講評する。

#### 1 内容評価点に係る審査講評

以下の評価項目・評価の視点ごとに、関連する入札関連書類を審査し、当該提案内容を点数化することにより、内容評価点を算出した。

評価項目	評価の視点	配点
1 .事業全体のマネジメント	事業期間中にわたり、効果的なマネジメント体制が構築され、かつその効果の発揮・維持について実現性の高い具体的な提案がなされているか。	50点
	ソフトとハードの最適な整合を実現するために効果的で実現性の高い方策等が提案されているか。	25点
	新市立病院の役割・機能及び医療を取り巻く環境の変化に対する対応・支援策等について、事業全体を通じたマネジメントという視点から具体的かつ有効な提案がなされているか。	25点
2 .高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保	長崎地域保健医療圏における基幹病院たる提案がなされているか。	25点
	新市立病院の理念・病院方針への的確な理解と高度・急性期医療を提供する基幹病院として、その医療機能が最大限発揮できる施設計画のあり方について、専門的知見を生かした有効な提案がなされているか。	100点
	長期間に亘り、使用する病院施設として、その建物性能の維持及び医療環境・医療機能等の変化に対して柔軟に対応できる、有効な提案がなされているか。	50点
	災害拠点病院として、災害時等において診療機能が維持でき、担うべき役割が発揮できる施設計画という視点から有効な提案がなされているか。	25点
3 .工程計画の考え方	円滑かつ確実な開院を実現するために効果的かつ実現性の高い方策が提案されているか。	50点
4 .地球環境への配慮	環境負荷の低減に関する具体的かつ有効な提案がなされているか。	25点

評価項目	評価の視点	配点
5. 地域経済の振興	市へ提供するサービスの質・性能を確保した上で、本事業全体を通じて、どのように地域経済に寄与できるかについて、効果が発揮できる有効な提案がなされているか。	50点
6. 周辺地域との調和	周辺地域と調和を図るための工夫について、有効な提案がなされているか。	50点
7. その他	その他、本事業において自らが貢献できるような対応・支援策等について具体的かつ有効な提案がなされているか。	25点

各項目に対する評価は、次のとおりである。

#### 【1. 事業全体のマネジメント】

マネジメント体制については、各グループとも病院PFIの特性を的確に捉えた上で、事業期間を複数段階に分け、各段階に応じた効率的なマネジメント体制、機能分担のあり方等を検討した有効な提案がなされていた。その中で、先行事例における課題を検証し、各段階に応じたマネジメント体制のポスト設定や機能について特に実効性の期待できる具体的な提案がなされていたXグループをA評価とした。また、先行事例における課題を踏まえ、マネジメント体制の実効性を高めるための工夫ある提案がなされたWグループ、YグループをB評価とし、ZグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. 病院PFIの経験を踏まえ、性能発注、長期包括契約を理解し、病院全体の最適化を図るという視点で事業に取り組もうという姿勢である。また、先行における課題について適切に考察した上で、それを踏まえた有効な提案がなされている。
- イ. 本事業の業務範囲を踏まえた効率的なマネジメント体制を構築し、代表企業が全個別業務のマネジメントを実施しながらも、SPCの経営を監視する組織を設けるなど、利益相反の回避に有効で客観性のあるモニタリングの仕組みが具体的に提案されている。
- ウ. 2社のリスクアドバイザーを起用し、想定されるリスクを徹底的に抽出するなど、SPCのリスクの最小化を図る仕組みを構築し、安定したSPCの運営に有効な提案がなされている。
- エ. マネジメント責任者及び施設整備業務マネジメント業務担当者の配置について、期工事完成・開院後2年目までは原則変更しないことなど、本事業におけるSPCの責任ある対応が期待できる配置期間が提案されている。また、他のマネジメント業務担当者についても、本事業に対する積極的な姿勢がうかがえる人員配置が提案されている。
- オ. 協力企業も含めた人材マネジメントシステムによるES(従業員満足度)の充実など、人材の

継続確保に効果的な仕組みが具体的に構築、提案されている。

- カ. 一般備品の簡易修繕の担当者について、月～金の常駐で専任としており、施設維持管理期間における施設利用者等の利便性に配慮された体制が提案されている。

#### Xグループ

- ア. 病院PFIの事例を踏まえ、性能発注、長期包括契約を理解し、病院側の業務範囲を含めた調整を行うなど病院全体の最適化を図るという視点で事業に取り組もうという姿勢である。また、先行の課題を検証したうえで、事業期間にわたって市・病院への柔軟な対応を実現するのに有効な仕組みが具体的に提案されている。
- イ. 代表企業のマネジメントを中心として、施設整備・維持管理を行う中心企業にもマネジメント機能を持たせ、また施設維持管理業務協力企業間で相互モニタリングを実施するなど利益相反の回避に有効なモニタリングスキームと、業務の継続性の確保に有効な仕組みが提案されている。
- ウ. 要求水準未達の防止、及び提供するサービスの質の継続的な向上が期待できるモニタリングの仕組みを具体的に構築、提案している。また、業務改善による業務の質の確保に有効な仕組みが提案されている。
- エ. 病院を実際に運営している企業が参画しているなど、専門的なバックアップが期待できる体制が提案されている。
- オ. マネジメント責任者の配置にあたって、期工事完成後1年経過時まで変更しない点、引継ぎ期間を最低3ヶ月間設けるなど、本事業においてSPCとしての責任ある対応が期待できる配置期間が提案されている。
- カ. 本事業に対する基本的な考え方に係る教育研修をSPCが中心となって協力企業に対して実施するなど、病院全体のイメージやモラルを保つ仕組みを考慮した教育研修が提案されている。
- キ. 一般備品の簡易修繕の担当者について、月～金の常駐で専任としており、施設維持管理期間における施設利用者等の利便性に配慮された体制が提案されている。

#### Yグループ

- ア. 病院PFIの経験を踏まえ、性能発注、長期包括契約を理解し、病院全体の最適化を図るという視点で事業に取り組もうという姿勢である。また、先行における課題についても適切に考察した上で、それらを踏まえた具体的な提案がなされている。
- イ. 本事業の業務範囲を踏まえ、効率的なマネジメント体制を構築し、代表企業が全個別業務のマネジメントを実施するなど、利益相反の回避に有効な体制が具体的に提案されている。
- ウ. 医療経営に見識のある企業をマネジメント協力企業として選定するなど、専門的なバックアップが期待できる具体的な体制が提案されている。

- エ. マネジメント責任者の配置にあたって、 期工事対象建物の開院半年後まで変更しない点、責任者及び各個別業務のマネジメント業務担当者の引継ぎ期間は2ヶ月設けるなど、本事業においてSPCとしての責任ある対応が期待できる配置期間が提案されている。
- オ. SPCと協力企業とが同じ人材システム基準を共有するなど、本事業に対する意識（病院理念、SPCの理念・方針等）を共有するための仕組みが提案されている。
- カ. ヘルプデスクに病院PFIで経験を積ませた人材を配置するなど、サービスの質の確保において効果的な仕組みが提案されている。

#### Zグループ

- ア. 本事業の業務範囲を踏まえて、効率的なマネジメント体制としたうえで、個別業務について他の個別業務協力企業（第三者）によるマネジメントを実施するなど、利益相反の回避に有効な体制が提案されている。
- イ. マネジメント責任者の配置にあたって、本事業においてSPCとしての責任ある対応が期待できる配置期間が提案されている。また、病院PFIや病院整備の特性をふまえた人材の配置が提案されている。
- ウ. 施設整備期間中において、市・病院側の業務内容に精通した人材を配置する提案となっている。
- エ. 施設維持管理業務及び利便施設運営業務の協力企業に、病院施設計画の立案に参加してもらうなど、事業者側の従業者等の業務環境に配慮し、モチベーションアップに配慮した提案となっている。

#### 【1. 事業全体のマネジメント】

各グループとも、本事業において市・病院が求めるソフトとハードの最適な整合を実現する重要性を的確に理解したうえで、各事業段階において病院現場のニーズを的確に取り入れる仕組みと柔軟な対応を考慮した設計スキームが提案されていた。特にXグループについては、市・病院側が検討する各種計画に対し積極的に理解を深めるための仕組みが構築され、また市・病院側の要望等による施設計画の変更においても最も柔軟性のある対応が期待できる姿勢、仕組みが提案されていたため、A評価とした。また、市・病院側の要望に対し、柔軟性のある対応が期待できる仕組みが提案されたWグループとYグループをB評価とし、ZグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. 市・病院へのヒアリングに、病院の運営・運用、情報システム、医療機器に精通した代表企業の専門スタッフがチームを作り参加するなど、情報の共有化、ソフトとハードの整合に配慮した有効なヒアリングスキームとなっている。

イ. 事業者側が提示している変更への対応期限を過ぎてからの変更要望に関しても一定の対応をする姿勢、具体的な対応手順が提案されている。

#### Xグループ

- ア. 基本設計に病院運営計画等の内容を反映させるため、施設整備マネジャーと設計担当者が病院主催の病院運営計画検討会等にオブザーブ参加するなど、情報の共有化、ソフトとハードの整合に配慮した有効なヒアリングスキーム、マネジメント手法が提案されている。
- イ. 部門内プランの変更に対応可能な時期や期間が具体的に明記されており、かつ他に比較して時期が長く設定されているなど、市・病院側の検討期間が十分に確保されており、検討結果を柔軟に施設計画に反映させる姿勢、仕組みが提案されている。また、変更可能な内容や事例について具体的に明記されているなど、市側の要望を十分に取り入れる提案となっている。
- ウ. 変更や追加となりやすい要素を事前に抽出・予測のうえ、早い段階での対応・解決となるよう綿密に協議するなど、各種変更による工期やコストへの影響を極力回避する仕組み、事例、対応方法が具体的に示され、市・病院の要望を反映するための有効な提案がなされている。

#### Yグループ

- ア. 別途市が策定する各種計画等への調整・支援に配慮したマネジメント体制が提案されている。
- イ. ヒアリングから検証・確認作業を十分に実施するなど、市側の要望を的確に取り入れるために十分な設計期間と効果的なヒアリングスキームが提案されている。

#### Zグループ

- ア. 別途市が策定する各種計画等に関する情報共有の仕組みの構築、マネジメント人員の配置が提案されている。

### 【 1 . 事業全体のマネジメント 】

各グループとも病院事業の収支構造の特性を踏まえた事業費設定の考え方が適切で、新市立病院を取り巻く環境の変化に対し、想定される変化や具体的な対応方法を踏まえた提案がなされた。中でも、変更に対するマネジメントにおいて具体的かつ実効性が特に期待できる提案がなされたWグループ、XグループをA評価とした。また、具体的な提案内容と積極的な変更調整等へのマネジメント姿勢がうかがえたYグループをB評価とし、ZグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. 先行の病院PFIにおける課題を踏まえ、個別業務ごとに事業費設定におけるポイントを具体的に記載している。

- イ. 受付・外来機能を 期棟に集約したことや駐車場を早期に完成するなど、工期設定上の工夫により、病院の単年度収支に配慮し、外来収入安定化への実効性が期待できる提案となっている。
- ウ. 入札金額内で価格調整を行う積極的な姿勢、変化に対する変更をコントロールする意図が明確に打ち出されている。
- エ. 市側業務を含めた B P R を行うなど、事業範囲を超えて病院全体の支出をコントロールする積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。

#### Xグループ

- ア. 当初金額の設定に当たって、各種変化・要望等への柔軟な対応が期待できる具体的な仕組みが提案されている。
- イ. 対応方法を具体的に例示し、積極的に各業務における業務調整を行うことを検討しているなど、単年度収支の変化に対し、詳細かつ具体的に検討のうえ提案されている。
- ウ. 市側業務を含めた B P R を行うなど、事業範囲を超えて病院全体の支出をコントロールする積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。

#### Yグループ

- ア. 病院の事業収支を踏まえたコスト削減策を検討した、積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。
- イ. S P C 内での解決の方法や主な変化を体系的に例示した上で、事業者側の対応方法を明示するなど、具体的に提案されている。
- ウ. 事業範囲を超えた市側業務を含めた B P R を行うなど、病院全体の支出をコントロールする積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。

#### Zグループ

- ア. 病院 P F I の特徴を的確に捉えた提案となっている。

### 【 2 . 高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保 】

各グループとも、敷地の制約条件、工期は二期に分かれることなど、制約条件が厳しい中で、地域医療支援病院として、ここに勤務する医療従事者はもとより地域の医療従事者にとっても機能的な建物であり、また、患者やその家族にとっても利用しやすい施設を採求され、今後の基本設計に有効となる提案がなされていた。中でも、医療従事者等の職場環境等の向上、病院利用者等の療養環境の向上、マグネットホスピタルの実現に資する効果的な設計上の工夫が、市にとって有効と判断されたWグループ、XグループをA評価とした。医療従事者にとって利便性の高い

環境を提案していたZグループをB評価とし、YグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. スタッフ専用テラスの提案など、「医療従事者を惹きつけるマグネットホスピタルとしての役割」について十分配慮した提案となっている。
- イ. 地域医療支援病院として、外部の医療従事者を招いてのセミナー、研修等の開催時において、外部からアクセスしやすさに配慮した提案となっている。

#### Xグループ

- ア. 院内保育や環境のよい休憩室、医局等の集約配置をし、医療従事者が本来業務に専念でき、働きやすい環境の整備など「医療従事者を惹きつけるマグネットホスピタルとしての役割」について配慮した提案となっている。
- イ. 地域医療支援病院として、外部の医療従事者を招いてのセミナー、研修等の開催時において、外部からのアクセスしやすさに配慮した提案となっている。

#### Yグループ

- ア. スタッフ専用テラスの提案や、医局と研修医関連のスペース、福利厚生関連施設をワンフロアに集約配置するなど、「医療従事者を惹きつけるマグネットホスピタルとしての役割」について十分配慮した提案となっている。

#### Zグループ

- ア. 院内保育や福利厚生関連施設を外部からアクセスのよい場所に集約配置し、医療従事者にとって利便性の高い環境を整備するなど「医療従事者を惹きつけるマグネットホスピタルとしての役割」について配慮した提案となっている。
- イ. 診療部門に隣接した倉庫の設置、各所に拡張のためのスペースを設けるなど、将来の機能拡充、改修などに十分配慮した提案となっている。

### 【 2 . 高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保 】

各グループとも、病院の担うべき診療機能を踏まえた最適な施設計画等について、敷地条件や周辺の道路状況の制約がある中で、検討の優先順位及びその根拠を明確にしながら提案されていた。病院全体のセキュリティ計画の考え方についても、施設維持管理業務の事業範囲となる入退出管理の管理方法も含め、効果的な提案がなされていた。管理部門諸室の配置や各出入口から診療エリア、倉庫等へのアプローチなどを工夫し、有効かつ効率的な動線計画、配置計画、物流計画の考え方についても具体的に提案されていた。中でも外来、病棟をはじめ手術、救急、集中治

療などといった急性期病院として重要な診療エリアについて、各所に医療従事者の業務連携、職場環境の向上及び患者サービスの向上、病院利用者の療養環境の向上に資する提案がなされていたWグループ、XグループをA評価とした。外来診療エリアにおける患者サービスの向上、病棟におけるスタッフの使い勝手に配慮された提案がなされていたZグループをB評価とし、YグループをC評価とした。

#### Wグループ

##### (敷地利用計画)

ア. 敷地内緑化計画については、国道側の緑地や市道側の活性化に寄与する緑化など、積極的に提案されている。また、小児入院患者用テラスを設置するなど小児に対しても療養環境への配慮が見られる提案となっている。

イ. 各棟の連結の工夫については、期棟内には基本的には診療エリア、期棟内には基本的にはスタッフエリアとするなど、居住空間の住み分けが明確な提案となっている。

##### (物流計画)

ウ. 院内全体の物流計画では、エレベータが適切に分散配置しており、患者・スタッフ動線との交差も少なく、搬送対象物(診療材料、食材)ごとに効率的に提案されている。加えて、病棟から霊安室、霊安室から病院外への遺体搬送動線は、病院利用者や物品搬送動線と交差しないように配慮された提案となっている。

##### (救急・手術部門)

エ. 救急エリアの考え方については、総合診療科(仮)診察室と初療室は、患者及びスタッフの往来が容易であり、初療エリアと放射線診断エリアとの距離が近く、迅速な搬送、初期治療、画像診断が迅速に行いやすく配置されている。

オ. 救急エレベータについても一般患者からの眼に触れないように工夫した提案となっている。

カ. 手術エリアの考え方については、診療エリアとスタッフエリアが明確に区分され、スタッフの使い勝手が良く、また手術室の配列がスタッフ間の連携や使い勝手に配慮された配置となっている。

##### (外来部門)

キ. 外来診療エリアの考え方については、特に待合エリアにおいて自然光の取り入れ方が明快であり、患者にとっては快適かつ分かり易い計画となっている。

##### (病棟部門)

ク. 病棟の考え方については、救命救急センター病棟及び集中治療室において、ICU/CCU/SCUとHCUのスタッフステーションが隣接しており、また、小児病棟においては、新生児治療室前の器材庫やスタッフステーション間を結ぶスタッフ専用通路を設置するなど、緊急時などにおけるスタッフ間の業務連携に十分配慮された提案となっている。

##### (その他)

- ケ. 期及び 期工期にわたる工事区分の考え方については、 期工事内で 期工事完成後とほぼ同じ運用が可能であり、スタッフの訓練面、患者サービス面で配慮された計画となっている。また、仮設棟との接続には屋根を設け、患者サービス面でも配慮されている。
- コ. 管理部門諸室を集約配置し、スタッフの利便性に配慮するとともに、スタッフエリアと患者エリアとの分離にも配慮されている。また、低層階にラウンジ、会議室等を配置し、スタッフ、病院利用者だけでなく、一般利用者への利便性にも配慮されている。
- サ. セキュリティ面においては、階段室の出入りも含め、セキュリティの高い縦動線の管理方法の提案など、全体的に院内のセキュリティに配慮した計画となっている。

#### Xグループ

##### (敷地利用計画)

- ア. 敷地利用計画面においては、駐車場前の車路と歩道を植え込みで分離するなど、歩行者動線と車両動線の区分が明快で安全性に配慮された提案となっている。
- イ. 敷地内緑化計画については、上記の分離帯の植え込みや、病棟部分について眺望を考慮した庭園がデイルームに面しており、療養環境に十分配慮された提案となっている。

##### (物流計画)

- ウ. 院内全体の物流計画では、エレベータが適切に分散配置しており、患者・スタッフ動線との交差も少なく、物流動線が搬送対象物(診療材料、食材)ごとに効率的に提案されている。加えて、病棟から霊安室、霊安室から病院外への遗体搬送動線は、病院利用者や物品搬送動線と交差しないように配慮された提案となっている。

##### (救急・手術部門)

- エ. 救急エリアの考え方については、総合診療科(仮)診察室と初療室は、患者及びスタッフの往来が容易であり、初療エリアと放射線診断エリアとの距離が近く、迅速な搬送、初期治療、画像診断が迅速に行いやすく配置されている。
- オ. 救急エレベータと関連部門との位置関係については、内視鏡部門に対しては距離が短く、感染症病棟への患者搬送動線は感染管理上効果的な計画となっている。また、ヘリポートからの救急搬送時、エレベータの乗換がなく、スムーズに患者を搬送できるよう提案されている。

##### (外来部門)

- カ. 外来診療エリアの考え方については、スタッフ通路の幅員や放射線診断エリアの操作ホールなど、患者呼び込みのし易さ、スタッフの業務連携と効率化など運用面に配慮された提案となっている。また、様々な外来患者の待合環境への配慮がうかがえる提案となっている。

##### (病棟部門)

- キ. 病棟の考え方については、一般患者動線とスタッフ、物流動線の交差には十分配慮された計画となっている。また、リハビリ部門は、入院患者の利用が比較的多い状況に配慮された提案となっている。

ク. 救命救急センター病棟及び集中治療室においては、ICU/CCU/SCUとHCUのスタッフステーションが隣接しており、緊急時などにおけるスタッフ間の連携に十分配慮されている。

(その他)

ケ. 期及び 期工期にわたる工事区分の考え方については、 期工事内で 期工事完成後とほぼ同じ運用が可能であり、スタッフの訓練面、患者サービス面で配慮された計画であること、また、仮設棟はスタッフのみの利用として患者の利用を避け、工事中の患者動線と工事動線を明快に分離している。

コ. セキュリティ面においては、見舞い等への対応方法などにおいて、病院スタッフに業務負担のかからない工夫などが提案されている。

## Yグループ

(敷地利用計画)

ア. 敷地利用計画においては、比較的余裕のあるロータリーを生み出していることに加え、歩行者動線と車両動線の区分がされており、安全性に配慮された提案となっている。また、雨水を流げるような設えが整備されており、利用者に配慮した提案となっている。

イ. 敷地内緑化計画については、眺望を考慮し、スタッフの環境にも十分配慮した提案となっている。

(救急・手術部門)

ウ. 救急エリアの考え方については、初療エリアのスタッフステーションと初療室との位置関係はスタッフが管理し易い位置に配置され、また、救急エリアと放射線診断エリアとの距離が近く、迅速な搬送、初期治療、画像診断が迅速に行いやすく配置されている。

エ. 救急エレベータと感染症病棟への患者搬送動線は、感染管理上効果的な計画となっている。

オ. 手術エリアの考え方については、診療エリアとスタッフエリアが明確に区分され、スタッフの使い勝手が良く、また手術室の配列がスタッフ間の連携や使い勝手に配慮された配置となっている。

(外来部門)

カ. 外来診療エリアの考え方については、放射線診断エリアの操作ホールが、スタッフの業務連携と効率化など運用面に配慮された提案となっている。また、様々な外来患者の待合環境への配慮がうかがえる提案となっている。

(病棟部門)

キ. 病棟の考え方については、小児科・外科系混合・皮膚科の病棟において、診察・処置室やシャワー室等が小児用・大人用各々に配置され、患者の診療・療養環境に配慮されている。

(その他)

ク. セキュリティ面においては、見舞い等への対応方法などにおいて、病院スタッフに業務負担

のかからない工夫が見られる提案となっている。

## 2 グループ

### (敷地利用計画)

ア. 敷地内緑化計画については、市道側に広場を設けるなど、地域への開放性に有効な提案となっている。

### (物流計画)

イ. 院内全体の物流計画では、エレベータが適切に分散配置しており、患者・スタッフ動線との交差も少なく、物流動線が搬送対象物（診療材料、食材）ごとに効率的に提案されている。加えて、病棟から霊安室、霊安室から病院外への遺体搬送動線は、病院利用者や物品搬送動線と交差しないように配慮された提案となっている。

### (救急・手術部門)

ウ. 救急エリアの考え方については、救急エリアと放射線診断エリア（特に一般撮影、CT）との距離が短く、迅速な搬送、初期治療、画像診断が迅速に行いやすく配置されている。

### (外来部門)

エ. 外来診療エリアの考え方については、外来専用エレベータの設置や外来共用トイレの充実、放射線診断エリアにおけるプライバシーへの配慮が必要な撮影室への専用待合の設置など、全体的に患者の待合、診療環境に配慮されている。

### (病棟部門)

オ. 病棟の考え方については、感染症患者には専用エレベータを確保しており、感染症病棟への患者搬送動線は感染管理上効果的な計画となっている。また、遊戯室に屋外テラスを隣接するなど、患者の療養環境にも配慮されていることに加え、新生児治療室前の倉庫や分娩室と新生児治療室の位置関係、診察・処置室とスタッフステーションの位置関係は、スタッフの使い勝手に配慮されている。

### (その他)

カ. 福利厚生関連施設の考え方として、更衣室に隣接して院内保育所が設けられており、スタッフの動線に配慮した提案となっている。

キ. 期及び 期工期にわたる工事区分の考え方については、 期で建設した仮設建物の解体をなくし、資源の有効活用と、敷地の有効利用に配慮した提案となっている。

ク. セキュリティ面においては、セキュリティレベルが高い諸室について、入退室管理を徹底する機能を設定するなど効果的な工夫が提案されている。

## 【 2 . 高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保 】

各グループとも、長期間に亘り病院機能を維持できるような耐久性の高く長寿命な具体的な仕様を提案し、将来の変化へ柔軟に対応可能な提案がされていた。特に、将来の変化に対する提案が具体的で実現性が高かったWグループとXグループをA評価とした。診療部門の内部改修への対応を詳細に亘り提案したZグループをB評価とし、YグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. 高強度コンクリートの採用、外装にメンテナンス性に配慮した材料や低汚染性の材料を選択するなど耐久性の高い長寿命な仕様について具体的な提案がなされている。
- イ. 金属部分の対策手法、アルミサッシの塗膜厚の提案も含め、塩害に配慮した具体的な提案がなされている。
- ウ. 病棟階は8階建てを実現する為に中空ポイドスラブを採用しているものの、将来的な拡張性を考慮し、フラットスラブとの併用、将来の水周り部分の増設に対する構造的配慮等詳細にわたり検討し提案されている。

#### Xグループ

- ア. 高強度コンクリートの採用、外装にメンテナンス性に配慮した材料や低汚染性の材料を選択するなど耐久性の高い長寿命な仕様について具体的な提案がなされている。
- イ. 外部の金属部分は全てアルミ製を採用するなど塩害に配慮した具体的な提案がなされている。
- ウ. ゆとりある階高の設定、将来頻繁に水廻りの改修が予想される部分のスラブ下がり、改修の予想される部門の二重床の採用など、詳細にわたり検討し提案されている。

#### Yグループ

- ア. 高強度コンクリートの採用、外装にメンテナンス性に配慮した材料や低汚染性の材料を選択するなど耐久性の高い長寿命な仕様について具体的な提案がなされている。

#### Zグループ

- ア. 高強度コンクリートの採用、外装にメンテナンス性に配慮した材料や低汚染性の材料を選択するなど耐久性の高い長寿命な仕様について具体的な提案がなされている。
- イ. 診療部門の将来増築可能なスペースを各フロアの各部門間に提案されている。

### 【2. 高度・急性期医療を担うための診療基盤の確保】

各グループとも、災害時等において地域災害医療センターとして診療機能が維持できるよう、各種災害を想定し具体的な提案がされていた。特に診療機能維持に関する提案に具体性が高く実現性の高いWグループ、XグループをA評価とし、一体性のある災害時のトリアージスペースの

確保を提案した Y グループを B 評価、 Z グループを C 評価とした。

#### W グループ

- ア. 昭和 57 年の水害をふまえ、今後の想定雨量等の水害予測に基づき、1 階床レベルの設定、免震層の止水対策、サービススロープへの止水対策、地下ピットのポンプアップ、地下湧水への対策等の対応策が提案されている。また、あびき、津波等の予測を行い、床レベルの設定を行っている。
- イ. トリアージスペースとして、エントランス前ピロティ、会議室、駐車場、1 階アトリウムを想定とし、一体性のある災害時のトリアージスペースが確保されており、治療・処置レベルに応じた段階的なエリア設定がなされた計画となっている。
- ウ. 備蓄倉庫が地下 1 階に設けられ、近接したエレベータ - 及び階段で搬出可能な計画となっており、最短な搬送動線・ルートが確保されている。

#### X グループ

- ア. 昭和 57 年の水害の検証を行い、中島川の氾濫、ゲリラ豪雨、津波、高潮等による被害等を想定し、1 階床レベルの設定、道路境界線に沿って植栽帯を設置、車両及び人の出入口にマウント（市道側）や防潮板（国道側）を設置する等の対応策が提案されている。特に、通常時の雨水貯留層以外に緊急時の雨水貯留層を別に設ける提案がなされている。
- イ. 歩行来院者用に設けられた敷地内緑地キャノピー廻り、エントランスホール等、一体性のある災害時のトリアージスペースが確保されており、治療・処置レベルに応じた段階的なエリア設定がなされた計画となっている
- ウ. 備蓄倉庫が地下 2 階に設けられ、近接したエレベータ - 及び階段で、搬送可能な計画となっており、最短な搬送動線・ルートが確保されている。

#### Y グループ

- ア. あびき、高潮、ゲリラ豪雨等の具体的な想定を行い、あびき、高潮に対しては防潮堤や防潮板を使用した対策、豪雨対策としては、敷地境界の入口に大型側溝を設ける等の対策が提案されている。
- イ. 駐車場棟から病院建物のエントランスホールまでの一体性のある災害時用トリアージスペースが確保されており、治療・処置レベルに応じた段階的なエリア設定がなされた計画となっている。

#### Z グループ

- ア. 各種災害に対する被害対策を漏れなく講じ、災害に強く、確実に機能する施設を目標とし、具体的には、建物周囲へ止水対策、非常時の安定的な電力供給対策等の提案がされている。

イ. 備蓄倉庫が地下1階に設けられ、近接したエレベータ - 及び階段で搬出可能な計画となっており、最短な搬送動線・ルートが確保されている。

### 【3. 工程計画の考え方】

各グループとも、円滑かつ確実な提案を実現するための具体的な提案がなされていた。特に診療制限の最小化及び運用の継続性、工事期間中の安全性、患者の居住性に十分配慮したWグループと、実現性が高くかつ合理的な工期短縮手法を踏まえた工程の設定を行い、また工事期間中における安全性に十分に配慮したXグループをA評価とし、市側が主として実施する開院準備・引越し等の業務に対する積極的な支援を提案したYグループをB評価、ZグループをC評価とした。

#### Wグループ

ア. 詳細な検証を重ねたうえで、工事期間中に想定される課題についても適切に捉え対応策について検討した工程計画が提案されていた。

イ. 1期工事、2期工事を通じて診療制限の最小化及び運用の継続性に配慮した計画が提案されている。

ウ. 1期から2期への改修については、接続工事の際の居住環境への影響を少なくするよう接続部分に居室を少なくする計画となっており、診療機能へほとんど影響をきたさずに改修できる工程計画となっている。

エ. 工事ステップ毎に病院利用者動線、工事車両動線、仮設安全通路等を詳細に検討し、安全性を確保した提案となっている。

オ. 事業範囲外である、引越し業務に関し、積極的な支援項目が提案されている。

#### Xグループ

ア. 詳細な検証がなされ、確実性のある工程計画が提案されており、実現性が高く、有効かつ合理的な工期短縮の手法を検討し提案している。

イ. 仮設棟は、管理部門のみを配置し工事動線と患者動線が交錯しない提案となっている。

ウ. 工事ステップ毎に病院利用者の動線に配慮し、安全性を確保した提案となっている。

エ. 引越し用仮設通路を設置し、天候等の予見できないリスクや患者の安全性等を考慮した効果的な提案がなされている。

オ. 事業範囲外である、引越し業務に関し、積極的な支援項目が提案されている。

#### Yグループ

ア. 既存建物と1期棟を結ぶ引越し専用渡り廊下および仮設外来棟と2期棟を結ぶ仮設安全通路を設け、天候等の予見できないリスクや患者の安全性等に配慮した提案がなされている。

- イ. 工事ステップ毎に病院利用者の動線に配慮し、安全性を確保した提案となっている。
- ウ. 事業範囲外である、市側業務及び引越し業務に関し、積極的な支援項目が提案されている。

#### Zグループ

- ア. 天候等の予見できないリスクや患者の安全性等を考慮し、既存建物と 期建物を仮設搬送ルートでつなぎ、効率的な引越し業務および安全な患者の移送計画に有効な提案がなされている。
- イ. 既存病院のサーバを移設しなくてもリハーサルを行えるよう、仮設ネットワークを接続する配線ルートを確認し、市側のリハーサル環境への配慮された提案となっている。

#### 【4. 地球環境への配慮】

各グループとも、要求水準を上回る提案がなされた。C A S B E E の評価項目の中でも、とりわけ環境負荷の低減に係る項目に重点を置いた提案がなされたWグループをA評価とし、その他のグループをB評価とした。

#### Wグループ

- ア. C A S B E E の評価結果について、要求水準を上回る提案となっている。
- イ. C A S B E E の評価項目の中でも、「建物の熱負荷」、「設備システムの効率化」、「地球温暖化への配慮」の3項目が5点満点で、とりわけ環境負荷の低減に係る項目に重点を置いており、環境負荷の低減に有効な提案となっている。
- ウ. ほぼ全面に low-E ガラスを採用、西側病室のエアフローウィンドウ、ヒートポンプ給湯器の排熱（冷水）の蓄熱利用、厨房雑排水の再利用など LCCO<sub>2</sub> 削減手法の採用に積極的な提案がなされている。
- エ. 市、病院側の職員に対して省エネルギー活動を浸透させる仕組みについて、詳細に検討・提案されている。

#### Xグループ

- ア. C A S B E E の評価結果について、要求水準を上回る提案となっている。
- イ. C A S B E E の評価項目の中で、「まちなみ・景観」、「効率的運用」の2項目が5点満点で、敷地内環境と環境負荷の低減に有効な提案となっている。
- ウ. LCCO<sub>2</sub> 削減手法の提案が具体的な提案がなされている。
- エ. 市、病院側の職員に対して省エネルギー活動を浸透させる仕組みについて、詳細に検討・提案されている。

#### Yグループ

- ア. C A S B E E の評価結果について、要求水準を上回る提案となっている。
- イ. C A S B E E の評価項目の中で、「まちなみ・景観」、「効率的運用」の2項目が5点満点で、敷地内環境と環境負荷の低減に有効な提案となっている。
- ウ. LCCO<sub>2</sub>削減手法の提案が具体的な提案がなされている。
- エ. 市、病院側の職員に対して省エネルギー活動を浸透させる仕組みについて、詳細に検討・提案されている。

#### Zグループ

- ア. C A S B E E の評価結果について、要求水準を上回る提案となっている。
- イ. C A S B E E の評価項目の中で、「まちなみ・景観」、「設備システムの効率化」の2項目が5点満点で、敷地内環境と環境負荷の低減に有効な提案となっている。
- ウ. LCCO<sub>2</sub>削減手法の提案が具体的な提案がなされている。
- エ. 市、病院側の職員に対して省エネルギー活動を浸透させる仕組み等が提案されている。

### 【5. 地域経済の振興】

地域経済の振興については各グループとも病院PFIの特性を適切にとらえた上で、グループの構成、経済波及効果、雇用創出等においてそれぞれ工夫ある提案がなされた。その中で、特に経済波及効果について事業期間にわたるバランスを考慮した提案となっていたWグループ、XグループをA評価とし、また検討を重ねた上で具体的な提案がなされていたYグループ、ZグループをB評価とした。

#### Wグループ

- ア. 事業段階別に具体的かつ詳細な提案がなされるなど、経済波及効果について事業期間におけるバランスを考慮した有効な提案となっており、また、応募グループとして積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。

#### Xグループ

- ア. 事業段階別に具体的かつ詳細な提案がなされるなど、経済波及効果について事業期間におけるバランスを考慮した有効な提案となっており、また、応募グループとして積極的な姿勢がうかがえる提案となっている。

#### Yグループ

- ア. 病院PFIの特性を適切にとらえた上で、地域経済の振興に寄与する具体的な提案がなされ

ていた。

#### Zグループ

- ア．病院PFIの特性を適切にとらえた上で、地域経済の振興に寄与する具体的な提案がなされていた。

### 【6.周辺地域との調和】

各グループとも、新市立病院の立地地域の状況・特性を十分に理解され、周辺地域との調和を図るために検討と工夫を重ねた提案がなされた。その中で、施設のボリューム感を緩和する工夫を凝らし周辺地域との調和が最も期待できる提案であったXグループをA評価とし、Wグループ、Yグループ、ZグループをB評価とした。

#### Wグループ

- ア．東西方向への抜けを意識し、また、期棟の低層化によって、背後の見通しを実現するなど、周辺環境への圧迫感を抑えるため、建築物の構造、外観等において工夫ある提案がなされた。

#### Xグループ

- ア．建物のボリュームを2つのブロックに分割することや 期棟を国道側道路境界よりセットバックすることで圧迫感を低減する工夫をするなど、建築物の構造、外観等における工夫により施設のボリューム感を緩和し、周辺地域への圧迫感を抑えながら周辺地域との調和が期待できる提案がなされた。

#### Yグループ

- ア．長崎らしさについて工夫し、全体に端整な外観デザインとするなど、周辺地域への圧迫感を抑えるため、建築物の構造、外観等において工夫ある提案がなされた。

#### Zグループ

- ア．この地区に溶け込む外観となっているなど、周辺地域への圧迫感を抑えるため、建築物の構造、外構等において工夫ある提案がなされた。

### 【7.その他】

自らが貢献できるような対応・支援策について、各グループとも十分検討され有効かつ多様な提案がなされたが、特に具体的な支援策を積極的に提案しているWグループ、XグループをA評

価とし、次いで具体的な提案がなされているYグループをB評価、ZグループをC評価とした。

#### Wグループ

- ア. 施設の利用者等の利便性向上に寄与する有効かつ具体的な提案がなされている。
- イ. 地域貢献、社会貢献への寄与が期待できる具体的な提案がなされている。

#### Xグループ

- ア. 施設の利用者等の利便性向上に寄与する有効かつ具体的な提案がなされている。
- イ. 健全経営への寄与が期待できる具体的な提案がなされている。

#### Yグループ

- ア. 施設の利用者等の利便性向上が期待できる具体的な提案がなされている。
- イ. 健全経営の視点にたった具体的な提案がなされている。

#### Zグループ

- ア. 地域貢献への寄与の視点にたった具体的な提案がなされている。

## 2 総評

長崎市は、長崎市立市民病院及び長崎市立病院成人病センターの2病院を廃止・統合し整備する新市立病院を、複数の医療機関で治療する地域完結型の医療提供体制を構築していくための要の病院とし、住民の身近な位置にある「かかりつけ医」等との連携を強化し、医療従事者の育成、高度医療機器の共同利用、開放病床の活用など地域の医療機関を支援する諸機能を備えた「地域医療支援病院」としての役割を担うものとしている。また、救急医療、周産期医療、災害拠点、感染症などの政策医療に係わる諸機能を整備することとしている。

このような新市立病院の整備運営事業をPFI手法で実施するにあたり、市は、「事業者の統合マネジメント機能」、「ソフトとハードの最適な整合」、「長期間にわたり利用できる施設・設備計画」、「将来の医療をとりまく環境変化への対応」、「地域経済の振興」、「周辺地域への配慮」、「財政負担の軽減」などを成功要因と捉え、各応募者にも強く訴えてきた。

入札提案書類の提出までの間、個別現場説明会や複数回に渡る書面での質問回答及び対話といったプロセスを経て、各応募者から提案を受けている。これにより、要求水準書等に示した市側の意図や現在の長崎市立市民病院及び長崎市立病院成人病センターが抱える課題等について、市及び応募者の双方が十分に認識を共有することができた。各応募者においては、市・病

院の意図・課題を積極的に理解しようとの真摯な取組み姿勢で、長期間にわたり大変な努力を頂いた。また、対話等を通じて各応募者ともに、本入札に向けて積極的な意見等を提示され、並々ならぬ熱意・誠意が感じられた。

このような経過を経て、提出された入札提案書類は、いずれも長崎市立市民病院及び長崎市立病院成人病センターの現状に対する理解も十分で、また将来を展望した先見性のある優れた内容が、施設設計・建設、施設維持管理、さらには事業のプロジェクトマネジメントといった広範な事業全般にわたり提案されており、深く研究・検討された秀逸な提案内容であった。

施設については、限られた工期や現市民病院敷地内を含む建替えなどの本事業独自の課題が多く存在するにも関わらず、各グループ各様の有効な解決策が示され、専門的な知見・ノウハウを基にした大胆かつ精緻な施設計画には、目を見張るものがあった。また、各所においてコストとパフォーマンスを両立する工夫がなされていた。

維持管理については、PFIならではの包括・長期契約のスキームを活用し、また先行案件における成功例や課題をふまえた効率的な業務実施体制における工夫や、長期事業期間にわたる市・病院との柔軟な協力体制を構築する提案となっていた。

そしてなによりも、特に施設整備上において様々な制約条件がある中で、それぞれのアイデアとノウハウにより、要求水準、質問回答あるいは対話等を通じて伝えた要望等をとりまとめた施設計画を提案頂いたこと、また当初想定していた市の事業収支計画よりも更に市の財政負担の軽減に寄与できる事業計画を提案いただいたこと、そのうえで本事業を成功に導くための努力と、プロジェクトのマネジメントにかかる知見・ノウハウには、感服した次第である。

今後、落札者には、民間企業ならではの経営、技術的ノウハウを活用した既存施設の解体や病院施設等の基本及び実施設計、建設・監理及び竣工後の維持管理等をお願いすることになるが、市・病院との十分なコミュニケーションと良好なパートナーシップのもと、より質の高い病院サービスを効率的・効果的かつ安定的に提供することで、本事業の目的が達成できるよう努力されんことを期待する。

平成 22 年 9 月 8 日  
長崎市新市立病院整備運営事業 PFI 審査会委員

長崎市新市立病院整備運営事業 P F I 審査会委員

【学識経験者等委員】(50音順：敬称略)

氏名	職業等
岩崎 榮	NPO法人卒後臨床研修評価機構専務理事
河口 豊	広島国際大学名誉教授
永田 泉	長崎大学病院副院長
林 一馬	長崎総合科学大学環境・建築学部教授
前田 博	弁護士
松元定次	長崎市医師会理事

【市側委員】

楠本征夫	病院事業管理者
鈴木 伸	市民病院院長
田浦幸一	成人病センター院長
野田哲男	企画財政部長
三藤義文	総務部長
御所健剛	建築住宅部長

会長 副会長

前委員富増邦夫氏の後任として委員へ就任